

(HDM推進会) 生ごみ微生物減量推進会 (第 19回)

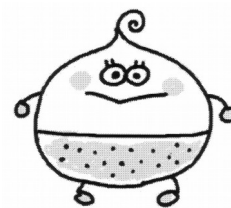
ごみゼロネット推進会 (第 41回) 議事録

開催日： 2011 年 (H23 年) 11 月 2 日 (水) 10:00 ~ 12:15

場 所： コミュニティサロン・はけ

出席者： 平林、大橋、杉本、川村 (作成)

今回は いろいろな用事がある方が多く 出席者は 4 人のみ
冒頭は、10 月 1 日 発表の市長辞職についての話題になっ



となった
た。

議 題：

1. 11 月 9 日 (水) の行政との「HDM導入検討会」再開について

- 行政側担当者が変更になっているので、顔合わせがメインとなる。
- 当会側は参加できる人は全員とする、発言する人は指名とする。
- いままでの打ち合わせ内容の経過と 中断前の可搬式装置を蛇の目跡地のリサイクルセンター内に置く提案申し入れについての回答を求める。
- 議事録は行政側は 内部で回覧するので時間がかかるので、当会側も作成し 会議終了後決まった事を確認する。

2. 今後の進め方 他

- 広域支援による焼却処理が今問題となっているので、討議内容は実証施設推進についてのみとしたほうが良い。
- 非焼却という言葉も現在の状況として広域支援先を刺激することになるので、あまり使わないほうが良いと思われる。
- 町田市は、行政が将来の非焼却施設に向け、市民に向けPR活動を行っている。
- 実証施設について行政側としても、ごみ対策課が内部に説明をしなければならないので、具体的な内容を提案する必要があると思われる。
- 二枚橋の更地工事で 小金井分の場所を先行して使用できるようにすることには、問題があるのでは。
- 先日のごみ組成分析実験によると 指定袋の中に生ごみとその他ごみが子袋により分別されているのが多いので、分別収集は、抗酸化バケツ利用すれば比較的容易にできるのではないだろうか。
- 小学校単位での地域で分別等の推進を民間主導で行うのが、良いと思われる。
- 現在の広域支援にかわる民間処理施設利用については、東京都内では 家庭系ごみ処理を行っている自治体はまだないと思われるのでいろいろ問題があるようだ、運搬の問題もあるようだ、将来的には、民間委託という方向の流れになると思われる。
- 現在の生ごみの堆肥化運動による生ごみ減量は処理量としては、大幅に伸びないのではないかと、可燃ごみを生ごみに分別収集して生ごみ全量堆肥化とすることは、受け取り方との費用的問題も発生し現実的ではないと思われる。
- 可燃ごみ処理を、広域支援協定の条件であった平成9 年 4 月新施設稼働に沿うためには、二枚橋跡地利用の難色を示している調布、府中市持ち分用地を切り離し小金井分のみでの処理施設建設、二枚橋周辺住民の理解を得やすくするための非焼却施設建設という観点からHDM処理施設は生ごみのみの処理、設備面としても、焼却施設より比較的規模が少なくすむ。
その他可燃ごみの処理については、広域支援に頼ることになるが、最終処理としても諸組合と関わらざるを得ない。
- 次回打合せ：12月7日(水)については、小平の食物循環モデル事業の見学会となっているのでそちらに参加する。

以上